



む け 無 憂 華

浄土真宗本願寺派正念寺
常陸太田市久米町20-1
発行:正念寺護持会

電話:0294-76-2058
FAX:0294-76-0169

コロナ感染症と付き合って一年半

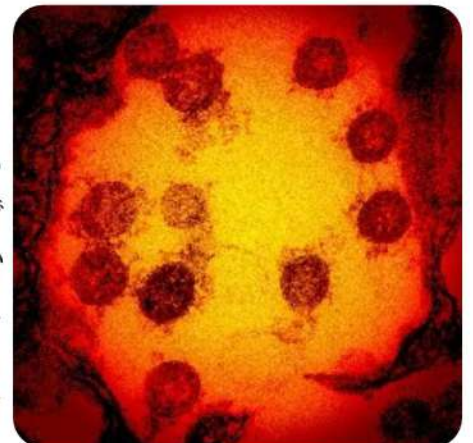
一昨年暮れに中国で始まったコロナ感染症が、瞬く間に世界中に広がり、この日本でも昨年2月から広がりを見せて、いつの間にかマスクを手放せない生活になり、外に出るのもはばかれる状況になってしまいました。私たちの会合も飲食を含むものはすべて中止になり、話し合いが済めば急ぎ家路につくというのが当たり前になりました。

寺の行事は、中止したのものもあれば、参加者を制限しながら継続しているものもあります。これは、正念寺ばかりでなく他の寺院でも同じ状況です。そんな中、コロナワクチン接種が医療関係者や介護関係者を皮切りに始まり、6月からは高齢者も始まり、現在では64歳以下についても始まった地区もあります。ワクチン接種が進んで、コロナ感染が収まってくるのかは予断の許さないところだと思いますが、ワクチン接種が進んだ諸外国の例を見ると、かなり収まっているのが見受けられます。ただ、変異株によって最近再び上昇傾向にあるところもありますので、油断はできないところです。

それにしても悔やまれるのは、最初日本では海外のようなパンデミックと呼ばれるような流行が起こっていなかったために、政府関係者や防疫関係者が、軽視していたように見えることと、いざワクチンをとったときに机上の論理にこだわり、海外ワクチンの承認を遅らせた野党の稚拙さです。この政党同士の足の引っ張り合いの中で、失われなくともよい命がどれだけ奪われたのでしょうか。与野党共々に、大いに反省していただきたいものだと思います。

しかし、日本では遅れているとされていた『在宅ワーク』が、今回の感染症を切っ掛けに一気に浸透しました。IT化にはおそらく結構遠いところにいたであろう寺院も、急速にリモートという言葉が普通になり、会議のほとんどがリモートにより開催され、法要やご法事にもリモートが浸透し、Youtubeを使えばお説教でさえも、いつでもどこでも普通に聞くことができるようになりました。まさにインターネットのお陰と言っても良いと思います。蛇足ながら、正念寺では1996年よりホームページを開設し現在も運用中ですが、ホームページを見て寺に来てくださった方もたくさんいらっしゃいます。そんな便利なインターネットですが、良い面もあれば当然悪い面もあります。

今、コロナワクチンに対して不安を訴える人がいます。私の知人にも何人かいて、直接「怖いよね」と言われたこともあります。インターネットからの情報で、ワクチンを打つことのリスク情報だけを受け取っているのだらうと思いますが、私はその度に、リスクの考え方だと伝えます。目の前に感染して苦しんでいる家族がいても、直接会って手を握って言葉をかけることも出来ない。そんな悲しく辛い状況があるのでしょうか。自分の問題だけで済むのなら、自由にすれば良いという考え方もわかります。しかし、感染症にかかれば家族に会うことも出来ない状況になりかねない。つまりはどちらのリスクをとるのか、という選択になります。これは、それぞれが判断すべき問題だとは思いますが、家族と共に考えて賢明な選択をして欲しいものです。



新型コロナウイルス画像

仏
説
阿
弥
陀
經

(第3回)※ご法事でよく使われる「仏説阿彌陀經」を現代語訳しています。

舍利弗よ、そなたはこれらの鳥が罪の報いとして鳥に生れたのだと思っはならない。なぜなら阿彌陀仏の国には地獄や餓鬼や畜生のものがないからである。

舍利弗よ、その国には地獄や餓鬼や畜生の名さえもないのだから、ましてそのようなものがあるはずがない。このさまざまな鳥はみな、阿彌陀仏が法を説きひろめるために、いろいろと形を変えて現されたものにほかならないのである。

舍利弗よ、またその仏の国では宝の並木や宝の網飾りがそよ風に揺れ、美しい音楽が流れている。それは百千種もの楽器が同時に奏でられているようであり、その音色を聞くものは、だれでもおのずから仏を念じ、法を念じ、僧伽(サンガ)を念じる心を起すのである。

舍利弗よ、阿彌陀仏の国はこのようなるわしいすがたをそなえているのである。

舍利弗よ、そなたはどう思うか。なぜその仏を阿彌陀と申しあげるのだろうか。

舍利弗よ、その仏の光明には限りがなく、すべての国々を照らして何のものにもさまたげられることがない。それで阿彌陀(アミターバ)^{*1}と申しあげるのである。

また舍利弗よ、その仏の寿命とその国の人々の寿命もともに限りがなく、実に量り知れないほど長い。それで阿彌陀(アミターユス)^{*1}と申しあげるのである。舍利弗よ、この阿彌陀仏が仏になられてから、今日まですでに十劫^{*2}という長い時が過ぎている。

また舍利弗よ、その仏のもとには数限りない声聞の弟子たちがいて、みな阿羅漢^{*3}のさとりを得ている。その数の多いことは、とても数え尽すことができない。また菩薩たちの数もそれと同じく、数え尽すことができない。

舍利弗よ、阿彌陀仏の国はこのようなるわしいすがたをそなえているのである。

また舍利弗よ、極楽世界に生れる人々はみな不退転^{*4}の位に至る。その中には一生補処^{*5}という最上の位の菩薩たちもたくさんいる。その数は実に多く、とても数え尽すことができない。それを説くには限りない時をかけなければならない。

舍利弗よ、このようなありさまを聞いたなら、ぜひともその国に生れたいと願うがよい。そのわけは、これらのすぐれた聖者たちと、ともに同じところに集うことができるからである。

*1 アミターバ・アミターユスとは、古代インドの言葉で、それぞれ「量(はか)りしれない光を持つ者」「量りしれない寿命を持つ者」という意味です。その言葉に中国で漢字を当てたものが、阿彌陀です。

*2 劫とは、インドの時間の単位です。
龍樹菩薩の著書である『大智度論』には「1辺2000kmの岩を100年に1度、布でなでて岩がすり減って完全になくなっても劫に満たない」という喩え話
が載っています。この喩えは落語「寿限無」にも「五劫のすり切れ」として登場します。
また、「1辺4000里の城にケシ粒がぎっしり詰まっておりその中から100年に1粒ずつケシ粒を取り出して、城の中のケシ粒が完全になくなっても1劫に満たない」という喩え
もあります。

*3 阿羅漢とは、最高の悟りを得た、尊敬や施しを受けるに相応しい聖者のことで、この境地に達すると迷いの輪廻から脱して涅槃に至ることができます。

*4 不退転とは、仏道修行中に得た状態を決して失わない、つまり、一度達した境地や位から退かないことです。とくに浄土真宗では、他力の信心をいただいた者はこの世において成仏、悟りが定まるといわれます。

*5 一生補処とは、この生涯だけは迷いの世界に縛られるが、次の世には仏となることが約束された菩薩の最上の位です。



参れ～寺カード10ポイント達成報告

参れ～寺10ポイント達成者

井坂 照雄様
井坂 豊子様
小坪 一恵様

法要での参加人数の制限などがあって、なかなか押印が進まない方もありまじょうが、リモートでご参加いただいた方にも後日押印いたしますので、どうぞ頑張って、色々なご講師のお話を拝聴しましょう。

花祭りコンサート

花祭りコンサートは、4月10日に開催され、18名の方のご参加がありました。また、ZoomやYouTubeによるリモート配信で視聴された方もいらっしゃいまして、リモートで視聴された方からも良かったという感想をいただき有り難く思っております。コロナ感染症の問題で、歌手の天下井様の前にビニールカーテンがあるため、少し隔てられた感じもありますが、それを気にさせないような歌声で、約1時間にわたるコンサートを行っていただきました。

今回のコンサートも、無料ではありますが、茨城新聞社の「愛の募金」を通じて寄付をさせていただくことをお話しいたしましたところ、ZoomやYouTubeで視聴された方からも寄付をいただき、大変感謝しております。おかげさまで今回も28,700円を寄付させていただきました。



毎月最終火曜日に清掃奉仕をお願いしておりますが、歓喜会法要前の7月27日もお手伝いをいただきました。おかげさまで手が届かなかったところの草取りも出来て、境内が綺麗になりました。お手伝いをいただきました方々は、次の方々です。

坂内 愛子様 根本 志郎様 上久保紀子様 井坂 豊子様
井坂ヨシエ様 井坂 秀子様

感謝録

ご寄付を戴きました事に感謝を込めてご報告させていただきます。

永代経供養として

金 壱百万円

井坂 政博様

グラウンドゴルフのご案内

コロナ感染症の問題で、昨年3月来延期しておりましたグラウンドゴルフを開催したいと思います。日程と場所は、以下の通りですのでよろしくお願いいたします。

集合場所	正念寺(集合時間9時)
日 程	10月17日(日)
場 所	大方運動広場
参加費	1,000円

これからの行事予定

8月31日(火)	
8:00	清掃奉仕
9月23日(木)	
10:00	彼岸会法要
11:00	久遠廟法要
9月28日(火)	
9:00	清掃奉仕
10月17日(日)	
9:00	グラウンドゴルフ
10月26日(火)	
9:00	清掃奉仕
11月 9日(火)	
13:30	仏具磨き
11月18日(木)~19日(金)	
13:30	報恩講法要
11月30日(火)	
9:00	清掃奉仕
12月31日(金)	
23:00	除夜会法要

正念寺ホームページのご案内

正念寺ではホームページがございます。常陸太田市・正念寺で検索していただきますと「正念寺」のホームページが出てきます。

ホームページには、今までの寺報やちょっとした仏教の話、寺の縁起などもあります。

スマートフォンなどからは、右記QRコードを読み込んでください。



住職雑感

東京オリンピックが、開催されましたが、皆さまはどのように観戦されたでしょうか。

開催反対と言っていた人たちも、一度始まれば、頑張っているアスリートに声援を送っています。日本人アスリートも大変頑張っています。レジェンドと呼ばれる人から若い人まで本当に頑張りました。

残念ながら結果が出なかった人もいましたが、だからといってその人が歩んできた道に価値がなくなったわけではありません。私たちは、こういうイベントだと、直ぐに結果だけを見てしまいがちになります。確かにスポーツですから結果は大事なことでしょう。しかしそれ以上に、そこに至るまでの努力にこそ価値があるのではないのでしょうか。その努力があったからこそ、オリンピックという場に立っているのですから。

話は変わりますが、パラリンピックの車椅子フェンシングに友人の息子さん(藤田道宣さん)が出場します。彼は、熊本の浄土真宗本願寺派のお寺の出身で、海水浴に行った際、事故により頸椎を損傷。そのため下半身が全く動かなくなり、握力も無い状態でありながら、ここまで来ました。そんな彼を、私も陰ながら応援したいと思っております。是非皆さんも車椅子フェンシングを見ていただければと思います。